

地場企業の海外事業展開に寄与する 福岡空港国際線

平田 エマ

はじめに

福岡空港国際線は、2014年の出入国者数が346万人（法務省出入国管理統計統計表）と過去最高を記録し、出入国外国人数が出入国日本人数を初めて上回り、急増するインバウンドの受け入れ窓口として注目を集めている。

アウトバウンドに目を向けると、福岡空港国際線は、日本人旅行客だけでなく、海外事業を展開する地場企業を送り出す機能を果たしている。人口減少による国内市場の縮小が懸念される中、成長著しい新興国の活力を取り入れるべく、新たな市場を求めて海外展開する企業も増えている。福岡空港国際線は、そうした企業を送り出す窓口として、更なる機能拡充が期待される場所である。

本レポートでは、海外事業を展開する地場企業と福岡空港国際線との関わりに着目し、アンケー

ト、ヒアリングをもとに、現状を整理するとともに、福岡空港国際線の機能拡充について展望する。

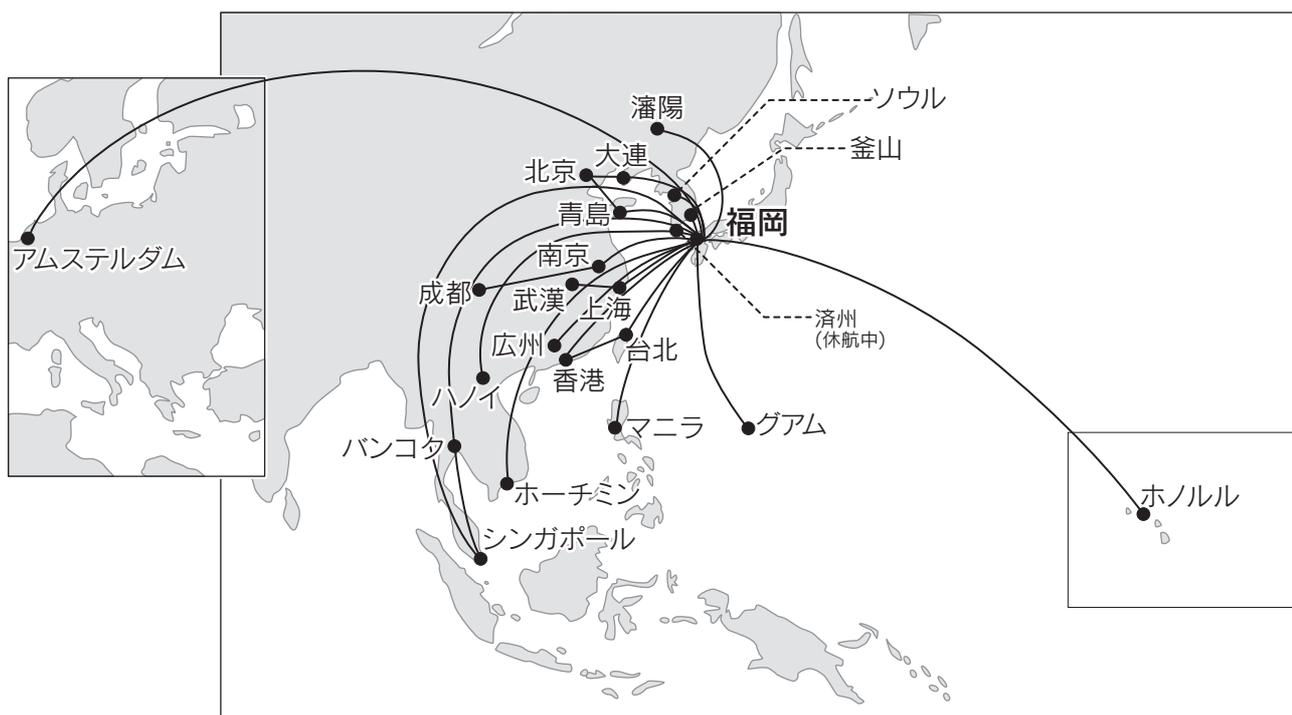
1. 福岡空港国際線の概況

1) 福岡空港国際線ネットワーク：

世界9カ国18路線

福岡空港国際線に乗り入れている航空会社は、共同運航を含めて24社となっている。国際線の路線数は、2015年8月現在、9カ国・地域、21都市を結ぶ18路線478便／週となっている（図1）。就航国・地域（都市）は、韓国（ソウル、釜山）、台湾（台北）、中国（香港、上海、北京、大連、青島など）、シンガポール、タイ（バンコク）、フィリピン（マニラ）、ベトナム（ホーチミン、ハノイ）、アメリカ（ホノルル、グアム）、オランダ（アムステルダム）などとなっている。

図1 福岡空港の国際線ネットワーク



注) 休航中の路線を含む
資料) 福岡空港ウェブサイトより九経調作成